

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【公開番号】特開2010-9223(P2010-9223A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-166203(P2008-166203)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/44 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 A

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 6 C

H 0 4 N 1/44

G 0 6 F 12/14 5 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月21日(2011.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データの解析機能を有する通信装置であって、
ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する取得手段と、
前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析手段と、
前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去手段と、
前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及び前記データ部を保存する保存手段とを備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記特定のデータは機密情報であることを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 3】

前記取得手段は、前記通信回線であるネットワークから前記パケットデータを取得することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の通信装置。

【請求項 4】

前記パケットデータの種別を判別する判別手段を備え、
前記解析手段は、前記判別されたパケットデータの種別に応じて異なる前記特定のデータが存在するか否かを解析することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記消去手段は、前記特定のデータを所定の値に置き換えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記通信装置は、ネットワークに接続された画像形成装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記特定のデータが存在しないと解析された場合、前記消去手段が前記特定のデータを消去することなく、前記保存手段は、前記ヘッダと前記データ部とを保存することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記解析手段は、前記特定のデータが前記パケットデータの先頭から何バイト目に存在するかを解析することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記解析手段は、前記特定のデータが何バイト分存在するかを解析することを特徴とする請求項 8 に記載の通信装置。

【請求項 10】

データの解析機能を有する通信装置の制御方法であって、

前記通信装置が、ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する取得ステップと

、
前記通信装置が、前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析ステップと、

前記通信装置が、前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去ステップと、

前記通信装置が、前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及び前記データ部を保存する保存ステップとを有することを特徴とする通信装置の制御方法。

【請求項 11】

ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する通信装置の制御方法をコンピュータに実行させるプログラムにおいて、

前記制御方法は、

前記コンピュータが、前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析ステップと、

前記コンピュータが、前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去ステップと、

前記コンピュータが、前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及びデータ部を保存する保存ステップとを有することを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的を達成するために、本発明の通信装置は、データの解析機能を有する通信装置であって、ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する取得手段と、前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析手段と、前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去手段と、前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及び前記データ部を保存する保存手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の通信装置の制御方法は、データの解析機能を有する通信装置の制御方法であって、前記通信装置が、ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する取得ステップと、前記通信装置が、前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析ステップと、前記通信装置が、前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去ステップと、前記通信装置が、前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及び前記データ部を保存する保存ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

本発明のプログラムは、ヘッダとデータ部とを含むパケットデータを取得する通信装置の制御方法をコンピュータに実行させるプログラムにおいて、前記制御方法は、前記コンピュータが、前記取得したパケットデータに所定の条件を満たす特定のデータが存在するか否かを解析する解析ステップと、前記コンピュータが、前記特定のデータが存在する場合、前記取得したパケットデータから当該特定のデータを消去する消去ステップと、前記コンピュータが、前記特定のデータが消去された、前記ヘッダ及びデータ部を保存する保存ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

本発明の請求項１、２に係る通信装置によれば、データを解析する際、特定のデータを除いたデータを取得することができる。これにより、通信装置で発生した障害を解析する際、特定のデータとして機密情報の漏洩を防止することができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

請求項４に係る通信装置によれば、パケットデータの種類に応じて異なる特定のデータの存在が解析されるので、機密情報に限らず、種々の特定のデータの保護が可能となる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

請求項５に係る通信装置によれば、特定のデータを所定の値に置き換えるので、簡単に特定のデータを消去することができる。

【 図 6 】

